

<ボランティア・寄付活動推進事業> 「自分にできることを改めて考える街頭募金活動」



ICAN 日本事務局
庭田 美環
～プロフィール～
大学卒業後、民間企業にて3年間営業職勤務。2019年10月より現職。

「久々に街頭募金活動に参加することができて嬉しい」。6月27日、このような声が多数あがりました。この日、聖霊中学・高等学校の生徒さんとともに、5ヵ月振りとなる「フィリピンの路上の子どもたちを応援する街頭募金活動」を実施しました。アイキャンでは毎月1回、その時最も必要とされている事業を対象に街頭募金活動を実施していますが、昨今の新型コロナウイルスの影響により、2020年2月から5月の間は活動を中止する判断をしていました。

活動当日は久々だった為か、集合時はいつも以上に皆さん緊張している様子が感じられました。しかしオリエンテーションを始めて暫くすると、段々とリラックスした様子で、呼びかけの台詞を考える際には「これで良いか」「こんな内容のことを呼びかけたい」と積極的に質問してくれました。屋外での活動時も、はっきりと自分の言葉で通行人の方々に思いを届けてくれたことで、多くの方がご協力してくださるとともに、「頑張ってください」とあたたかい声を掛けてくださる等、久々の街頭募金活動は大成功に終わりました。

このように活動は非常に良いものになりましたが、新型コロナウイルスも完全には終息していない中、当初は街頭募金活動再開について判断に迷う部分もありました。アイキャンは4月から、フィリピン国内で新型コロナウイルスの影響を受けた人びとへの緊急物資配布を実施していました。当活動の傍ら日本では活動を一部自粛しており、事業地の子どもたちとの活動費用を、街頭募金活動を通して集めることができないもどかしさを感じていました。また、聖霊中学・高等学校の皆さんからも、是非活動に参加したいとの声を多数頂いており、このような想いが重なったことと、愛知県内では5月半ば以降新型コロナウイルス感染者が殆ど確認されていなかった状況もあり、マスク着用等の感染予防対策を講じて実施する事を条件に、街頭募金活動の再開が実現しました。



活動後は、参加者と感想などを共有する場を設けています。この日は「マスクをしながらの実施で、いつもより疲れたけれど、沢山の方が募金をしてくれて嬉しかった。久しぶりに街頭募金に参加できて良かった」「今後も自分のできることをしていきたい」という声が多くあり、今回の実施を決めて良かったと改めて感じました。今は世界中が苦難の時期にあると思います。ですがこのような時期だからこそ、一人ひとりが「自分にできること」を改めて考え、あたたかい気持ちをもってそれを実行できるような場を今後も作っていただければと思います。

ある日のスケジュール

- 10:00 街頭募金準備
- 13:00 オリエンテーション開始
- 14:00 街頭募金活動開始
- 16:00 集計や振り返り
- 17:00 解散
- 17:15 街頭募金後の書類作成等
- 19:00 帰宅

フィリピン事業

6月/トンド(フィリピン)

感染予防のための手洗い研修を実施



6月10日、フィリピンのトンド地区に住む12名の子どもに対して、アイキャンの看護師スタッフが「新型コロナウイルス感染予防のための手洗い研修」を実施しました。参加した子どもからは、「研修を受けて正しい手洗いの仕方が分かりました」「教えてくれてありがとうございます」などの声が聞かれました。

（この部分は上記の文脈で補完された内容です）

イエメン事業

6月/サナア(イエメン)

栄養改善のための粉ミルクの提供を実施



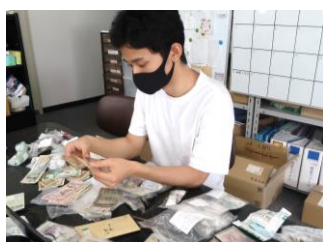
多くの子どもたちが重度の栄養失調に苦しんでいるイエメンにおいて、アイキャンでは、6月15～17日にかけて、首都サナアで暮らす2歳～5歳の子どもたち100名に、栄養改善のための粉ミルク提供を行いました。子どもたちの保護者からは、「この提供が子どもの栄養改善にとっても役立っていて、ありがたい」との声をいただきました。

（この部分は上記の文脈で補完された内容です）

ボランティア・寄付活動推進事業

6月/日本(名古屋)

ボランティア受入れを再開



日本事務局では、新型コロナウイルスの影響により3月から休止していたボランティア受入を再開しました。青年海外協力隊員で、現在退避されている方もボランティアに駆けつけてくださり、「今回ボランティアを通じて、NGOの活動についても知ることができました。」とお話下さいました。ボランティア活動にも熱心に取り組んでくださいました。

（この部分は上記の文脈で補完された内容です）

日本事業（長野・自然災害事業）

6月/日本(長野)

写真洗浄プロジェクトの活動再開



アイキャン長野事務所では、新型コロナウイルスの影響により、被災写真を綺麗にする「長野写真洗浄プロジェクト」の活動を休止していましたが、6月より活動を再開し、7名のボランティアさんが参加くださいました。住民の方からは、「いつ

写真が戻ってくるか心配していたので、再開してよかった」との声が聞かれました。